



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月11日
東

上場会社名 ビーウィズ株式会社 上場取引所
 コード番号 9216 URL <https://www.bewith.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 宏一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 飯島 健二 (TEL) 03-6631-6005
 四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	19,339	16.5	1,403	83.3	1,395	76.1	958	82.9
2023年5月期第2四半期	16,603	5.2	765	△40.2	792	△39.0	523	△38.3

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 958百万円(82.9%) 2023年5月期第2四半期 523百万円(△38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	68.75	66.60
2023年5月期第2四半期	38.22	37.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	12,972	8,195	63.2
2023年5月期	12,207	7,841	64.2

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 8,193百万円 2023年5月期 7,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	49.00	49.00
2024年5月期	—	0.00			
2024年5月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	10.9	2,900	30.3	2,900	27.8	1,970	17.4	141.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年5月期2Q	13,966,400株	2023年5月期	13,893,200株
2024年5月期2Q	25株	2023年5月期	25株
2024年5月期2Q	13,938,171株	2023年5月期2Q	13,707,650株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ホームページ (<https://www.bewith.net/ir/>) に掲載いたします。また、2024年1月12日(金)に決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動正常化の動きが続いており、内需の押し上げにより景気は緩やかに回復しつつあるものの、物価上昇による消費の抑制や円安、資源価格の動向、ウクライナやイスラエル・パレスチナ情勢などの地政学リスクもあり、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属するコンタクトセンター・BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業界においては、コロナ禍におけるリモートワーク環境整備等の暫定的なデジタル活用から、業務品質や生産性の改善を目的とした本質的なデジタル活用への移行が始まっております。そのような背景から、業務のデジタル化や業務体制の再構築、在宅オペレーションの導入、BCP対策の強化等の複数のニーズの拡大により、市場規模は堅調に推移しております。このような経営環境の下、当社グループは2026年5月期までを対象期間とする「中期経営計画2025」において、「根元から新芽まで健康に成長し続ける会社」をビジョンとし、経営方針として①Omnia LINKの強力な成長、②特徴あるコンタクトセンター・BPOの継続的成長、③事業成長を支える経営基盤の構築、の3点の実現に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、コンタクトセンター・BPOサービスの拡大を主な要因として、売上高は、対前年同期比で+2,735百万円となりました。特に、重点分野としている金融業界における新規案件の獲得や既存業務の拡大に加え、その他ライフライン業界や公共案件等の成長が増収を牽引しました。好調な受注状況に伴い、2023年7月13日に発表している2024年5月期上期計画比でも順調に推移しております。

営業利益は、対前年同期比で+638百万円となりました。当第2四半期連結累計期間では、売上高の増加に伴う利益増加と、一部業務の販売価格見直しや派遣比率低減による取り組み強化が利益率改善に寄与しました。さらに、前期はシステム開発に伴う研究開発費が発生しましたが、今期は開発終了に伴いその計上がなくなったことが主な理由で、販管費率も低下しました。その結果、営業利益率の改善につながっております。売上高同様、営業利益についても上期計画比で順調に推移しております。

引き続き、新規顧客の着実な獲得、高付加価値サービスのご提供によって、通期での計画達成を目指してまいります。

Omnia LINK外販については、対前年同期比で+54.9%となる2,865ライセンスとなりました。前四半期比では+331ライセンスとなりました。あわせて、すでに内示を獲得し納品準備をおこなっている受注残ライセンス数は前四半期と同様の水準になっております。また、Omnia LINK外販のARR（年次経常収益：毎月継続して生じる収益×12か月で算出）は7.2億円（対前年同期比+93.3%）となりました。

2023年11月末におけるオペレーションブース数は、全国17拠点、6,820ブースとなり、コンタクトセンター・BPOサービスでのOmnia LINK利用ライセンス数は、2,598ライセンス、占有率（コンタクトセンター・BPOサービスでの利用PBXのうち、Omnia LINKが占める割合）は76.7%となりました。

上記の結果、売上高は、19,339百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は、1,403百万円（前年同期比83.3%増）、経常利益は、1,395百万円（前年同期比76.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、958百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

なお、当社グループは、コンタクトセンター・BPO事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、12,972百万円となり、前連結会計年度末比765百万円の増加となりました。これは主に、売掛金の増加376百万円、投資有価証券の増加102百万円、敷金及び保証金の増加92百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債額は、4,776百万円となり、前連結会計年度末比411百万円の増加となりました。これは主に、未払金の減少136百万円、未払費用の増加214百万円、未払法人税等の増加212百万円、未払消費税等の増加79百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産額は、8,195百万円となり、前連結会計年度末比353百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益958百万円を計上した一方で、剰余金の配当680百万円により利益剰余金が減少したためです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,148百万円(前年同期は143百万円の資金の獲得)となりました。主な増加要因として税金等調整前四半期純利益1,406百万円(前年同期792百万円)があった一方で、減少要因として売上債権の増加372百万円(前年同期586百万円)等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、499百万円(前年同期は227百万円の支出)となりました。主な減少要因としてコンタクトセンター拠点の新設に伴う有形固定資産の取得による支出164百万円(前年同期138百万円)、無形固定資産の取得による支出139百万円(前年同期94百万円)、投資有価証券の取得による支出99百万円(前年同期なし)等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、611百万円(前年同期は621百万円の支出)となりました。主な減少要因として配当金の支払額680百万円(前年同期642百万円)等があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2023年7月13日に公表いたしました2024年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,913,708	4,952,830
売掛金	4,050,458	4,427,448
電子記録債権	30,413	26,184
商品	30,384	4,820
仕掛品	1,166	1,072
貯蔵品	3,903	3,406
その他	340,816	304,422
流動資産合計	9,370,848	9,720,182
固定資産		
有形固定資産	899,593	1,015,347
無形固定資産		
のれん	14,015	17,560
その他	309,715	402,218
無形固定資産合計	323,730	419,778
投資その他の資産		
投資有価証券	168,000	270,412
敷金及び保証金	1,052,467	1,145,261
その他	392,406	401,756
投資その他の資産合計	1,612,873	1,817,429
固定資産合計	2,836,196	3,252,554
資産合計	12,207,044	12,972,736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	4,776	4,776
未払金	843,424	706,465
未払費用	1,623,176	1,837,743
未払法人税等	368,251	580,371
未払消費税等	519,397	598,977
賞与引当金	304,566	355,708
その他	314,630	288,101
流動負債合計	3,983,220	4,372,141
固定負債		
長期借入金	25,511	23,123
退職給付に係る負債	5,248	5,535
資産除去債務	351,171	372,722
その他	—	3,406
固定負債合計	381,930	404,786
負債合計	4,365,150	4,776,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	794,133	832,570
資本剰余金	897,315	935,752
利益剰余金	6,147,671	6,425,092
自己株式	△53	△53
株主資本合計	7,839,066	8,193,361
新株予約権	2,828	2,448
純資産合計	7,841,894	8,195,809
負債純資産合計	12,207,044	12,972,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	16,603,482	19,339,333
売上原価	14,214,417	16,237,501
売上総利益	2,389,065	3,101,832
販売費及び一般管理費	1,623,435	1,698,114
営業利益	765,630	1,403,718
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	—	1
補助金収入	25,853	4,564
その他	956	1,516
営業外収益合計	26,810	6,082
営業外費用		
支払利息	—	197
持分法による投資損失	—	13,896
その他	115	120
営業外費用合計	115	14,213
経常利益	792,325	1,395,587
特別利益		
持分変動利益	—	13,671
特別利益合計	—	13,671
特別損失		
固定資産除却損	160	3,070
特別損失合計	160	3,070
税金等調整前四半期純利益	792,165	1,406,188
法人税、住民税及び事業税	314,066	459,425
法人税等調整額	△45,851	△11,425
法人税等合計	268,215	448,000
四半期純利益	523,950	958,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	523,950	958,188

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	523,950	958,188
四半期包括利益	523,950	958,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523,950	958,188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	792,165	1,406,188
減価償却費	105,280	136,272
のれん償却額	2,826	7,671
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△86,560	51,142
受取利息及び受取配当金	△0	△2
補助金収入	△25,853	△4,564
支払利息	—	197
持分法による投資損益 (△は益)	—	13,896
持分変動損益 (△は益)	—	△13,671
固定資産除売却損益 (△は益)	160	3,070
売上債権の増減額 (△は増加)	△586,226	△372,761
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△395	26,155
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	287
その他の資産の増減額 (△は増加)	6,351	19,879
営業債務の増減額 (△は減少)	280,209	36,037
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△176,928	83,214
その他の負債の増減額 (△は減少)	33,004	△11,374
その他	1,108	1,050
小計	345,140	1,382,686
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	—	△197
補助金の受取額	22,890	20,031
法人税等の支払額	△224,502	△254,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,529	1,148,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△138,364	△164,014
無形固定資産の取得による支出	△94,458	△139,821
投資有価証券の取得による支出	—	△99,999
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△1,800
敷金及び保証金の差入による支出	△736	△95,897
敷金及び保証金の回収による収入	1,039	3,103
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6,534	—
その他	△1,526	△824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,511	△499,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△5,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,388
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20,900	76,494
配当金の支払額	△642,641	△680,458
その他	—	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621,741	△611,830
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△705,723	37,322
現金及び現金同等物の期首残高	4,429,714	4,913,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,723,991	4,950,329

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。